



◆前営業日の相場動向◆

原油安・金利低下で米株上昇、日経平均は6万円割れ

	5/20	前日比		5/20	前日比		5/20	前日比
日本国債(10年)	2.785%	-0.015%	日経平均(円)	59,804.41	-746.18	ドル円	158.92	-0.15
独国債(10年)	3.096%	-0.097%	独DAX(pt)	24,737.24	336.59	NY原油	98.26	-9.51
米国債(10年)	4.586%	-0.081%	NYダウ(ドル)	50,009.35	645.47	NY金	4,535.30	24.10

【ポイント】

- **日本株は下落**:世界的な金利上昇への警戒感から、AI・半導体関連株を中心に利益確定売りが広がった。日経平均は一時1200円超下落し、約3週間ぶりに6万円を割り込んだ。もっとも、小売りや金融株の一部には買いが入り、下げ幅を縮めた。
- **米国株は上昇**:原油価格が下落し、米長期金利も低下したことが相場を支えた。エヌビディア決算への期待も追い風となり、主要三指数は揃って上昇した。
- **米金利は低下**:原油価格が下落し、インフレ懸念が後退した。前日に金利が急上昇していた反動に加え、20年債入札が底堅い結果と受け止められたことも支えとなり、米10年金利は低下した。
- **ドル円は下落**:米イラン交渉進展期待を受けて原油価格や米金利が低下し、円買い・ドル売りが優勢となった。ドル円は一時158円台半ばまで下落し、日銀の利上げ観測も円を支えた。

【主な材料】

- トランプ大統領が、イラン交渉は「最終段階」にあると発言
- WTI原油先物7月限は、前日比5%超下落し、1バレル98ドル台に

◆本日の見通し◆

米国とイランの交渉進展期待で日本株は上昇、米国金利は低下を予想

日本株 ↗ 60,800-61,800

米金利 ↘ 4.52-4.62

ドル円 ↘ 158.20-159.20

- **日本株**は上昇を予想。米国とイランの交渉進展期待から、海外時間に日経平均先物は6万円台を回復。素直に好感し、底堅い展開を見込む。
- **米金利**は低下を予想。原油価格の上昇が一服しており、金利低下余地を探る展開を見込む。利上げ警戒もあり4.5%が目先の節目となろう。
- **ドル円**は下落を予想。小枝審議委員講演が注目される。従来の発言を踏まえると6月利上げに前向きと見込まれ、円買い材料となろう。

◆本日の注目ポイント◆

政府・日銀へのけん制？

- 米財務長官はSNSで「過度な為替変動は望ましくない」とし、通信社インタビューでは「政府が十分な自由を与えれば、植田総裁は必要なことをやる」と発言。SNSは従来同様の為替安定への言及にとどまる一方、インタビューまで踏まえると、市場では日銀の政策自由度や引き締め姿勢を巡るメッセージとして受け止められる余地もある。
- こうした発言は政府の金融政策への関与や次回会合での判断を巡る思惑を喚起し、結果として6月会合を巡る利上げ観測が改めて意識されやすくなったものといえよう。(担当：苅谷)

【これまでの同氏の日本に対する発言や報道】

日付	要旨
2025年 8月	日本はインフレ対応で遅れを取っている。
10月	過剰な為替変動を防ぐ上で、健全な金融政策の策定・対話が必要
2026年 1/14	過度な為替変動は望ましくない 健全な金融政策の策定と発信
1/20	日本の当局は市場を落ち着かせる発言を始めるだろう
1/23	米当局がレートチェックを実施
2/24	1月レートチェックはベッセント氏が主導した (片山財務相と会談後)
5/12	過度な為替変動は望ましくない。日本と緊密に連携。

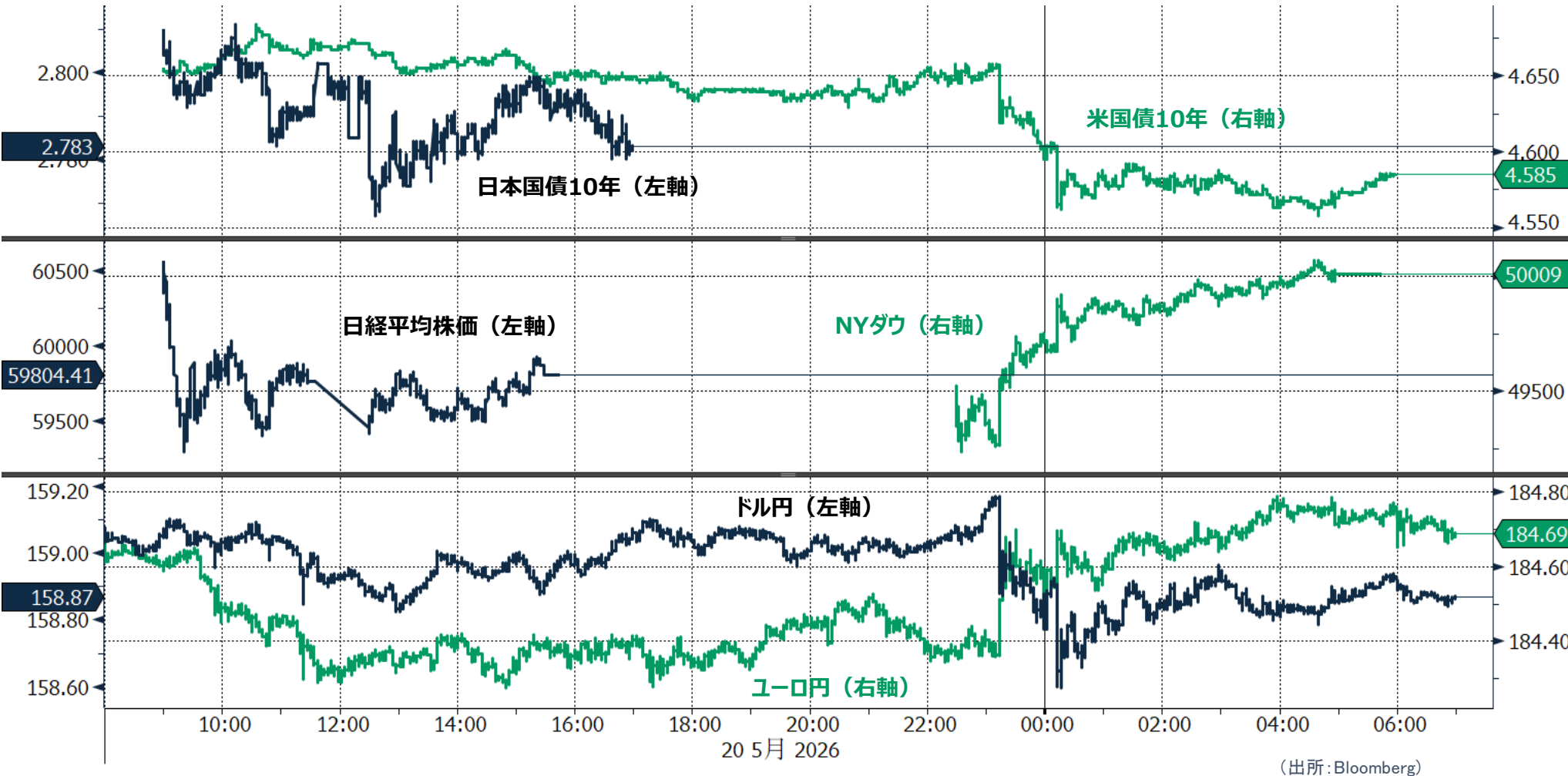
◆当面の注目イベント◆

	イベント	注目点
5/29	4月鉱工業生産	2月末に米国・イスラエルとイランの戦争が開始され、徐々に実体経済への波及が意識される局面。一部部品の供給が滞る中、生産への影響が明確に出てくれば、景気減速懸念につながるやすい。
6/3	米バージュブック	6月FOMC控えた各地区連銀の現況報告になる。このところの経済指標は上向きで米国経済の底堅さが確認されよう。一方、ガソリン価格の高騰に苦しむ低所得者層の状況についても注目したい。

リそな マーケットフラッシュ デイリー

◆前営業日のマーケット動向◆

- TOPIX33業種中 30業種が下落（値下がり率上位）非鉄金属>建設業>石油・石炭製品
- S&P11業種中 8業種が上昇（値上がり率上位）一般消費財・サービス>情報技術>素材
- 主要通貨強い順 AUD>GBP>CHF>EUR>JPY>USD>CAD

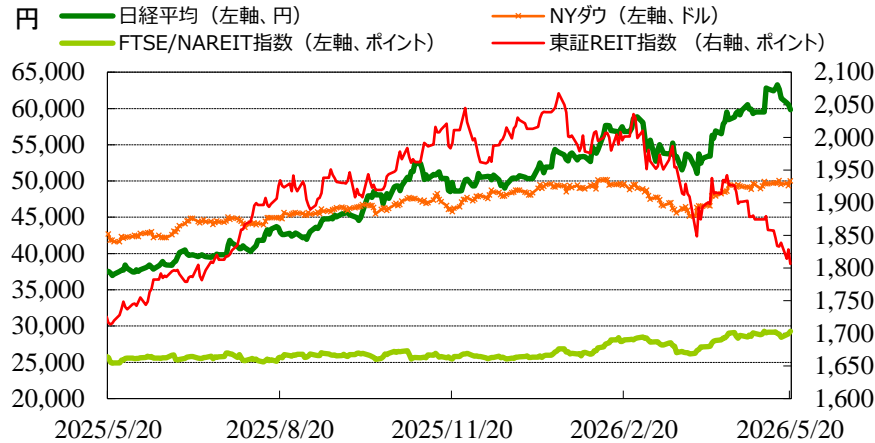


◎注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていないと否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

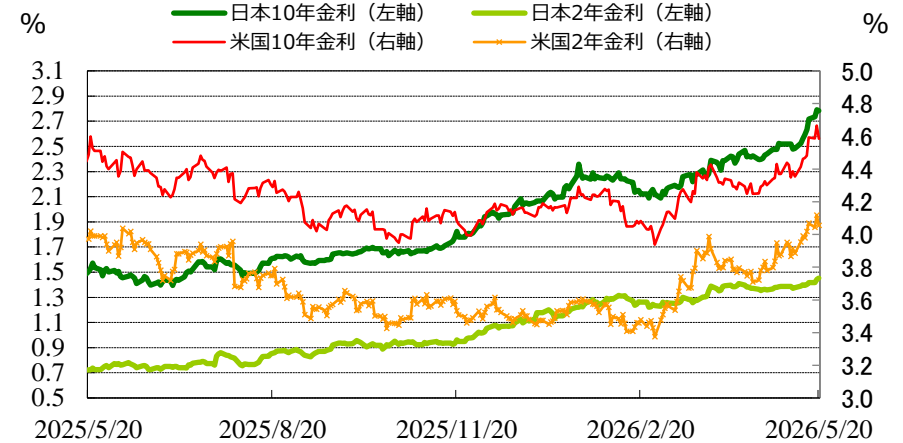
(出所：Bloomberg)

◆マーケット・チャート◆

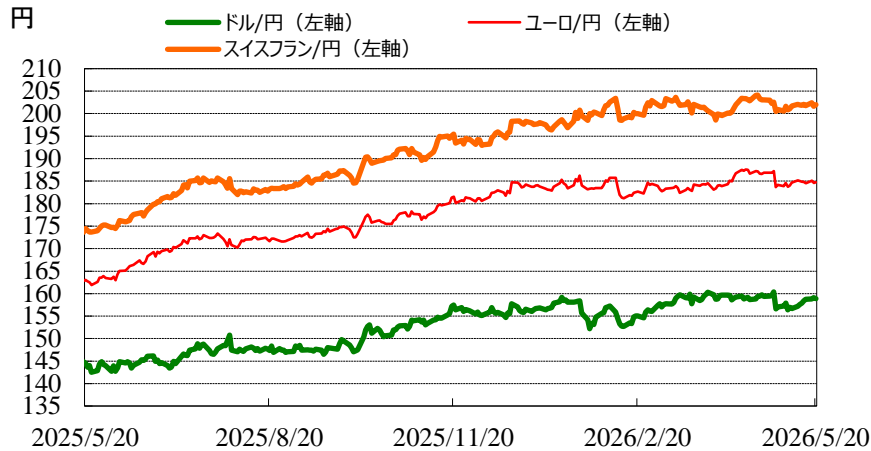
図表1：株式市場（日経平均、NYダウ、東証REIT指数、FTSE/NAREIT指数）



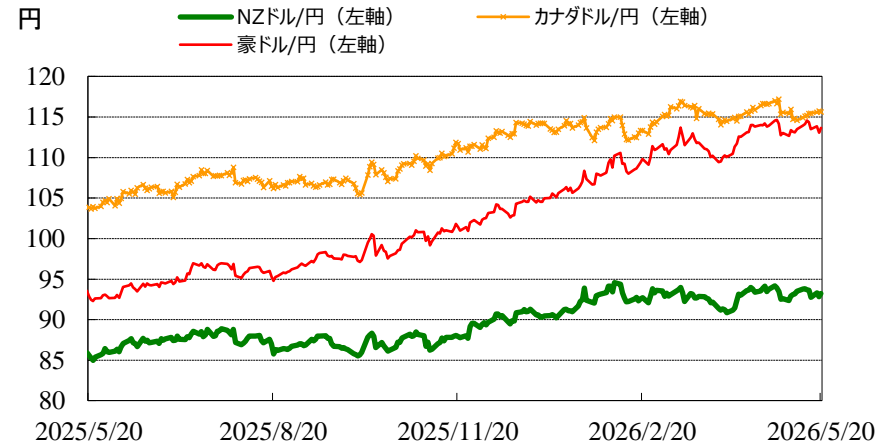
図表2：債券市場（日米2年金利、10年金利）



図表3：為替市場（ドル/円、ユーロ/円、スイスフラン/円）



図表4：為替市場（豪ドル/円、NZドル/円、カナダドル/円）

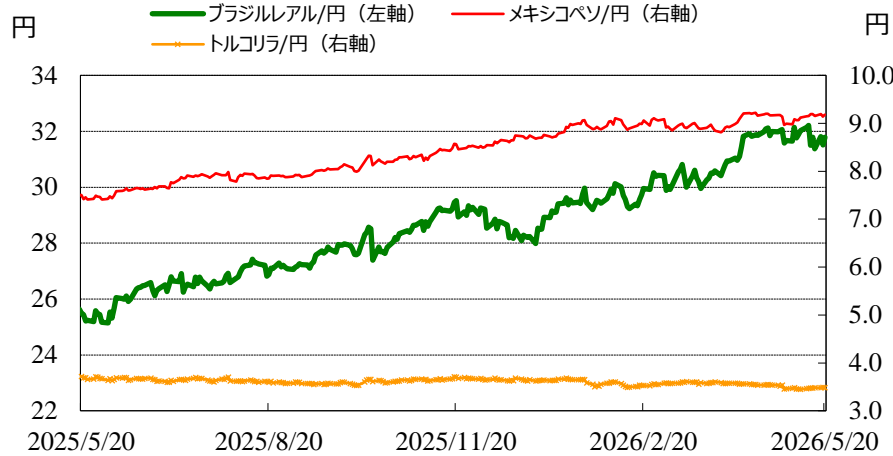


◎注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されてい
ると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的として
おり、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

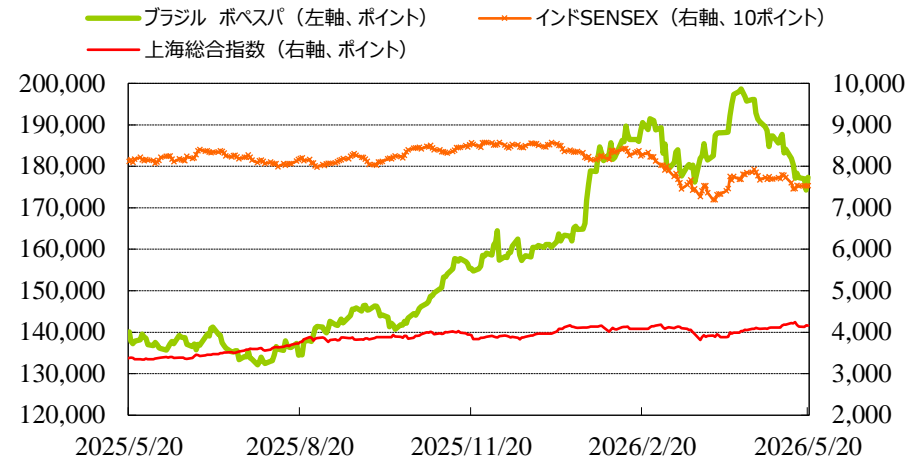
◆マーケット・チャート◆

(出所：Bloomberg)

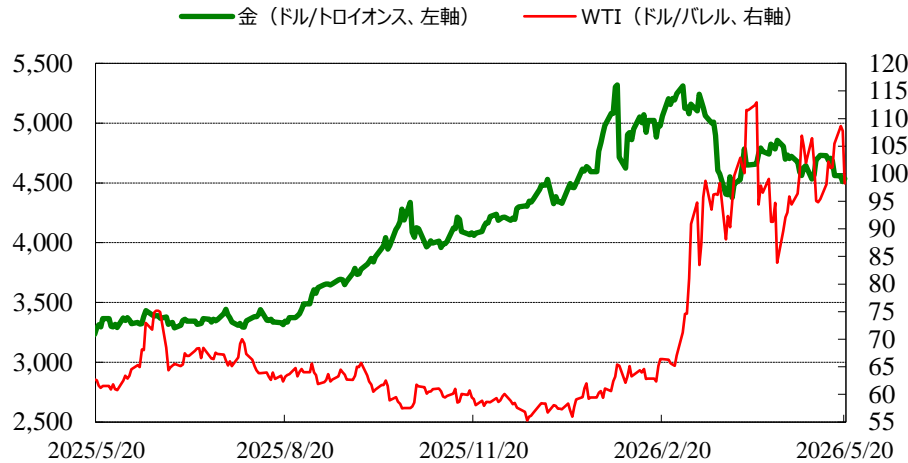
図表5：為替市場（ブラジルレアル/円、メキシコペソ/円、トルコリラ/円）



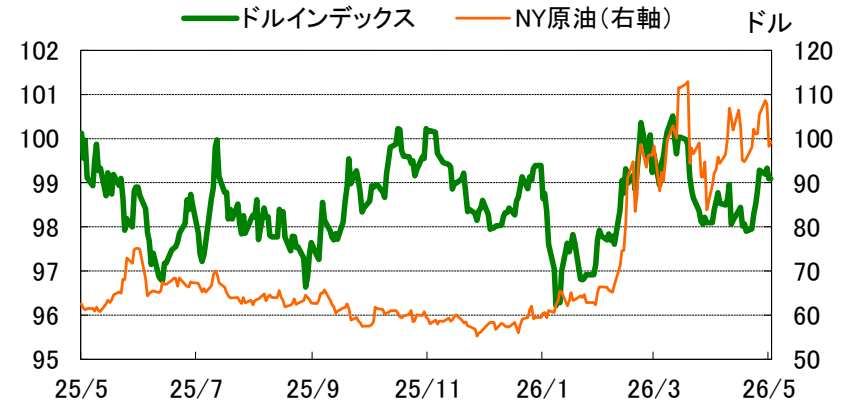
図表6：株式市場（ブラジル株、インド株、中国株）



図表7：商品市場（金・原油）



図表8：ドルインデックスとNY原油



出所：Bloomberg、りそな銀行

